

平成27年度調達等合理化計画自己評価

課題		評価指標	実施内容	達成状況	効果	今後の課題・対応方針
一者応札・応募の改善	発注見通しの事前公表	入札案件のうち「発注見通し」を掲載した件数	15件 工事：15件 物品・役務：未実施	△ 工事契約については、実施できたが、役務契約については、実施することができなかった	工事契約については、幅広く情報提供を行うことができた	物品・役務契約も可能な案件(急遽入札実施が必要となった案件等は除く)については公表を実施する
	一者応札・応募となった原因等の把握	一者応札・応募となった案件のうち「意見聴取」を行った件数	57件 一者応札・応募案件(102件)のうち、複数者に資料配布した全ての案件で意見聴取実施	○ 目標どおり取り組むことができた	一者応札・応募となった原因等の把握をすることで、今後の一者応札・応募の改善に活用することができた	「意見聴取」の内容を一者応札・応募の改善に活用する
	参加者確認公募への移行要件の整理	検証実施件数	19件 特命随意契約案件についての検証：3件 2年連続で一者応札となった契約についての検証：16件	○ 参加者確認公募への移行要件を整理することができた	参加確認公募への移行要件を整理したことで、今後、適正に移行検討をすることができる	参加確認公募への移行要件がある場合、適正に実施する
競争性の拡大	一括調達の活用	一括調達の実施件数	7件	○ 一括調達が可能な案件については、概ね実施している	引き続きスケールメリットに配慮した契約や事務の省略化をすることができた	更なる取組として、PCの調達について一括調達の検討を行う
	オープンカウンタ方式の導入	オープンカウンタ方式の実施件数	1件	○ オープンカウンタ方式見積もり合せの制度を確立することができた	今後の契約で、オープンカウンタ方式見積もり合せを実施する案件においては、多数の者に競争の機会を広げることができた	オープンカウンタ方式見積もり合せを推進していく
随意契約に関する内部統制の確立	新たに随意契約を締結することとなる案件については、事前に法人内に設置された適正契約検証チーム(総括責任者は経営・管理業務担当理事)に報告し、JSC会計規則における「随意契約によることができる事由」との整合性や、より競争性のある調達手続の実施の可否の観点から点検を受けることとする	適正契約検証チームによる点検件数	16件	○ 随意契約事前点検について制度を確立することができた	より適正に随意契約案件について検証することができた	随時、必要に応じて制度の見直しを行っていく
不祥事の発生の未然防止・再発防止のための取組	調達事務マニュアル(内部チェックマニュアル)の作成	-	-	○ 契約マニュアル(原課用)を作成することができた	より適正な契約の実施が期待できる	契約部門用の契約事務マニュアル作成について検討を行う
	依頼部門に対して、必要に応じて連絡会等を実施し、各種連絡事項の周知・徹底を図る	実施件数	11件	○ 随意契約事前点検制度確立時に全部署に対して説明会を実施した	契約事務について、センター職員に周知・徹底をすることができた	契約マニュアルの説明会を全部署に実施する。(実施済) また、契約部門用の契約事務マニュアル作成時、各契約部門に対しての説明会について検討を行う
建設工事契約の適正化の推進	本年度JSCにおいては大規模な建設工事の調達が見込まれており、建設工事の契約関連事務については文部科学省等が定める建設工事等の契約関連事務処理に関する通知等に準じて適切に取り扱うとともに、特に新国立競技場整備に係る契約については、外部有識者により構成される、「独立行政法人日本スポーツ振興センター新国立競技場整備に係る工事契約審議委員会」の審査を受ける等、適正な実施の推進を図る	実施回数	2回	○ 新国立競技場整備に係る工事契約の適正な実施に関する事項について審議を行った ・第1回(6/19)新営工事(スタンド/屋根)の実施について ・第2回(8/27)白紙撤回後の新たな新国立競技場整備事業に係る公募のプロセスについて	建設工事に関する契約に当たって、工事契約審議委員会の意見を踏まえ実施したことにより、契約事務の適正な執行を図ることができた	引き続き建設工事契約の適正化を推進する